

議長総括

第11回アジア危機管理会議(於マニラ)

1. 本年、マニラ首都圏は2013年7月10日から11日の日程で第11回アジア危機管理会議(ACMC、Asian Crisis Management Conference)を主催した。この期間はフィリピンの全国防災月間に当たる。近隣都市との強固な関係構築が早急に求められることを認識し、ANMC21加盟7都市であるバンコクとジャカルタ、クアラルンプール、マニラ市、ソウル、シンガポール、東京が参加した。

2. 大都市における重大な危険、気候変動や自然災害といった災害からの影響と被害に立ち向かい、対処するため、当ネットワークでは今後も加盟大都市間の連携を強化していく。本年、当ネットワークは、防災と減災、対応、復旧、復興など広範囲にわたる災害関連管理イニシアティブを特定し共有することにより、市民の安全保護に向けた戦略の特定を継続する。

3. この歴史的な年次会議のハイライトは、加盟都市が、共通点もあるが差異もあるそれぞれの危機管理問題をテーマに行ったプレゼンテーションである。本年の主題は「**災害からの復旧と復興への取組—アジア大都市の復旧と復興への取組**」である。災害管理の世界的な動向としては減災と防災、そして緊急時対応に焦点が置かれている。しかしながら本年、当ネットワークは、復旧と復興に注力することもまた同様に重要であるということに認識するに至った。壊滅的被害を受けた後、いかにして人々の気持ちを前に向けさせるかが非常に重要なポイントだからである。災害から社会を再構築すること—まさにそれこそが復旧と復興の指し示すところであるため、この会議の主題に据えられた。

参加都市は本年、洪水や地震、火災など様々な災害についての戦略を発表した。都市によるプレゼンテーションすべてに共通して見られたのは、災害管理には「全政府的対応」と民間セクターおよびコミュニティの関与が求められるとの認識である。さらに加盟都市は、市民にリスクを伝達する上でのテクノロジーの役割の重要性と、市民の安全確保には既存の災害関連法規の遵守が必須であることを強調した。事業継続計画の策定と健全な財政再建メカニズムの必要性も同様に特定された。

4. 本年のイベントの成果の中でも、防災や減災、災害対応と復旧に関わる各都市の機能を、相互協力を通じて更に強化するとの合意は特筆に値する。私たちが前進するためには、それぞれの知識とリソース、強みを自ら進んで共有しなければならないことに合意した。さらには、現行の災害訓練の交流とプログラム、ならびに人的資源の能力向上の継続が、その足掛かりとなることについても認識を共有した。

災害に国境がないことを鑑み、私たちはここに、コミュニケーションの輪をさらに深め、当ネットワーク加盟都市間の連携を強化するとの誓いを新たに、「災害に強いアジアの都市」という私たちの夢を実現することを明言する。

5. 当ネットワークは、この緊要かつ重要な会議の次回開催都市を、クアラルンプールとすることを合意する。